



咲希ちゃん(平成18年2月10日生)
両親＝金杉英樹・美穂子さん〔萬力〕
「イタズラ好きの咲希タンは、
いつも元気です」



結愛ちゃん(平成18年9月13日生)
両親＝鈴木 学・恵さん〔中谷里〕
「上手にお座りできました♡」



あおいちゃん(平成18年7月11日生)
両親＝林 裕之・朋子さん〔西足洗〕
「わが家のお姫さま。
お風呂が大好き!!」

すこやかちゃんを募集しています

掲載ご希望の方は、秘書広報課広報広聴班(〒289-2595旭市二の1920・☎62-8070)へ。
対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、保健センター、海上保健センター、飯岡保健センター、干潟保健センター、秘書広報課にあります。



紙上展示室 ―旭モノ語り― 第二十五回

エンヤーホー



宿天神区八坂神社の太田祇園祭。そのなかで奉納されるのがエンヤーホーです。高い柱に登り、さまざまな曲技を見せる民俗芸能を「つく舞」といいます。八坂神社のエンヤーホーもこのひとつ。何やら不思議な響きの呼び名は、「陰陽法」の掛け声がなまったものといわれています。

この祭礼、一月の米揃いから始まり、五月、六月には七五三縄つくりと飾りつけも行われ、七月二十七日の本祭御輿渡御に向けて準備が進められます。本祭では、太鼓やお囃子を従えて大小二つの御輿がまちを練り歩き、夕方には祭りの最初の山場を迎えます。ここまでは一般的な祇園祭と同様です。

そして御輿還御の後、いよいよつく舞の始まりです。子どもたちの「エンヤーホー」の掛け声とともに、神社前に組まれた舞台上で、愛嬌たっぷりの素朴な張子の面をつけた演者が、それぞれの役を演じます。赤獅子、青獅子、かまきり、みみずく、雌鹿、牡鹿、つる、ひよっこ、おかめ、だんな、のぼり獅子の全十一種類。

何といっても圧巻は、高さ十六メートルのつく柱での演目です。のぼり獅子の役は、その高い柱を二本の紐をつたって跳ねるように登り、その先端で鈴・轡を鳴らし芸を披露。両手両足を離しての逆大の字ポーズを決め、紙吹雪を散らします。この命がけの役、ここ近年は三代続けて同じお宅から演じ手を出しています。

エンヤーホーの象徴であり、名譽でもある、まさに祭りの要といえます。平成十一年には、国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選ばれました。旭市教育委員会では、昨年の様子を収めたDVDも作成されています。地域の祭典と曲芸とが合わさり、独自に伝承された珍しいお祭りなのです。

〔大原学記念館 猪野映里子〕

暮らしのカレンダー

- 1日(水) 矢指ヶ浦・飯岡海水浴場、
飯岡海浜プール開設中(～19日(日))
- 5日(日) 天の川ライブフェスティバル
(11:00～ 東総文化会館)
- 6日(月) セタ市民まつり
(～7日(火) 中央商店街路上ほか)
- 15日(水) 戦没者を追悼し平和を祈念する日

編集後記

子どもたちも夏休みにはいりました。普段は決して自分から起きてくることのないわが家の娘たちが目覚ましをかけ、早起きしてラジオ体操に出かけていきます。立派です。さらに帰宅するなり「お腹減った」といつて朝食を食べています。なんて健康的。こんな規則正しい生活をずっと続けてくれたら、と願う父親の私はやっとなら覚めたところ。気まずいです。よし、明日は早起きして一緒にラジオ体操へ行こう。がんばれ私。まだまだ夏はこれからです。(ま)